

## 四ノ宮成祥 防衛医科大学校 学校長

〈専門分野〉 免疫・微生物学、分子腫瘍学、高圧・潜水医学、バイオセキュリティ

「ゲノム合成」に関して、最も関心のある/重要と考えるテーマ・論点・事象など

- 微生物（特に病原性が問題となるもの）のゲノム合成や、それをもとにした感染性病原体作成自体をどこまで進めてよいのか？
- ヒトのゲノムはどこまで合成してよいのか（その利用法も含め）？

ご自身の最近の活動として、最も関心のある/あるいは周囲でホットなテーマなど

- COVID-19に対して人類がこれほどまでにこぞった理由
- ゲノム編集の医療利用はどこまで許されるのか？

〈活動紹介〉

- 「合成生物学は社会に何をもたらすか（島菌進、四ノ宮成祥・編著）」（専修大学出版局、2022）
- SARS-CoV-2の起源（恐らく迷宮入りするように思われますが、…）
  - 「軍事研究を哲学する —科学技術とデュアルユース（出口康夫、大庭弘継・編）」（昭和堂、2022）  
〔第5章 先端生命科学研究—微生物学研究と生物兵器開発の境界 四ノ宮成祥〕
  - Shinomiya, et al.: Reconsidering the need for gain-of-function research on enhanced potential pandemic pathogens in the post-COVID-19 era. *Front. Bioeng. Biotechnol.* (in press)